



U.S. Customs and Border Protection

Global Entry Trusted Traveler Program

FACT SHEET

グローバルエントリーはCBPが運営する事前認証済みの危険度が低い渡航者の航空機による米国入国を促進するリスクベースでの取り組みです。このプログラムは米国民、米国籍所持者、米国永住者、または他の特定国の市民が利用出来ます。

申請するために必要な最低渡航回数や年齢制限はありません。申請資格のある17歳までの申請者は親または合法的な保護者の同意が必要です。

登録プロセスでは申請者はCBP職員による厳格な身元調査と面接を受けます。

登録認証後、プログラム参加者はパスポートコントロールの際、自動化キオスクを使用し、CBP入国審査場外にある優先出口に誘導されます。グローバルエントリーは列に並ぶ必要のない渡航者のチケットです。



グローバルエントリーは現在正式なプログラムになり30の米国の空港と10の事前審査が行われる空港にて利用可能です。グローバルエントリーを使用した渡航者の75パーセント以上は待ち時間を70パーセント以上短縮しており、5分以内に入国審査を終了します。

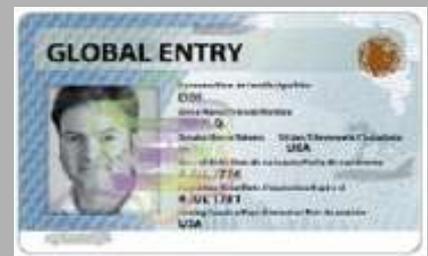
グローバルエントリープログラムへの参加は任意で、登録の際に100ドルの申請料金を支払い、一度支払った料金は返金不可能です。認証後5年間有効です。

全ての参加者は機械読取式のパスポートを所持しなければなりません（または該当する場合、永住権カードも可能）。グローバルエントリーはCBPの既に導入されている以下の現存するトラステッドトラベラーズプログラムを元に開発され開始されました：ネクサス（NEXUS）、セキュアー エレクトロニック、ネットワーク トラベラーズラピッド インспекション（SENTRI）、フリー アンド セキュアードレード（FAST）。

グローバルエントリーカード

グローバルエントリーカードは西半球旅行イニシアチブに準拠した陸海路による渡航にも使用される渡航文書です。また、米国入国の際これらのカードでネクサスやセントリ専用通路を利用出来ます。しかし、グローバルエントリーカードはグローバルエントリーキオスク、またはネクサス専用通路やネクサスキオスクを利用してのカナダ入国に有効な渡航文書ではありません。

米国南西国境でセントリ専用通路の利用を希望するグローバルエントリーメンバーは車両の登録が必要です。



グローバルエントリーは現在以下の空港で利用可能です：

- ハーツフィールド ジャクソンアトランタ国際空港 (ATL)
- ボストン ローガン国際空港 (BOS)
- シャルロット ダグラス国際空港 (CLT)
- シカゴ オヘア国際空港 (ORD)
- ダラス/フォートワース国際空港 (DFW)
- デンバー国際空港 (DEN)
- デトロイト メトロ ウェイン郡空港 (DTW)
- フォートローダーデールハリウッド国際空港 (FLL)
- グアム国際空港 (GUM)*
- ホノルル国際空港 (HNL)
- ヒューストン ジョージ ブッシュ国際空港 (IAH)
- ラスベガス マッカラン国際空港 (LAS)
- ロスアンゼルス国際空港 (LAX)
- マイアミ国際空港 (MIA)
- ミネアポリス/セントポール国際空港 (MSP)
- ネットワーク リバティ国際空港 (EWR)
- ニューヨーク ジョン F. ケネディ国際空港 (JFK)
- オーランド国際空港 (MCO)
- オーランド サンフォード国際空港 (SFB)
- フィラデルフィア国際空港 (PHL)
- フェニックス スカイ ハーパー国際空港 (PHX)
- ラレイダーハム国際空港 (RDU)*

- サイパン国際空港 (SPN)*
- ソルトレークシティ国際空港 (SLC)*
- サン アントニオ国際空港 (SAT)*
- サンディエゴ国際空港 (SAN)*
- サンフランシスコ国際空港 (SFO)*
- サン フアン-ルイス ムニョス マリン国際空港 (SJU)
- シアトル-タコマ国際空港 (SEA)
- ワシントン ダレス国際空港 (IAD)

事前審査可能空港

- カルガリー国際空港 (YYC)
- ダブリン国際空港 (DUB)*
- エドモントン国際空港 (YEG)
- ハリファックス スタンフィールド国際空港 (YHZ)
- モントリオール ピエール エリオット トルドー国際空港 (YUL)
- オタワ マクドナルド-カルティエ国際空港 (YOW)
- シャノン空港 (SNN)*
- トロント ピアソン国際空港 (YYZ)
- バンクーバー国際空港 (YVR)
- ウィニペグ ジェームス アームストロング リチャードソン国際空港 (YWG)

*この印の付いている空港には登録センターはありません。



CBPは国土安全保障省のイニシアチブにおいてTSAとパートナーシップを組んでいます。このイニシアチブはTSAが危険度の高いあるいは未確認の渡航者に対し重点的に取り組む事を可能にしています。同時に危険度の低い確認済みの渡航者の迅速な処理を行っています。CBPグローバルエントリー、ネクサス、セントリ トラストッドトラベラープログラムに参加している米国市民はTSAのプログラムに参加可能です。適性がある渡航者は指定された審査通路を利用し米国保安検査場にて迅速化された審査が可能です。その他の便益は以下のとおりです：

- 靴を履いたまま検査
- 機内持ち込み 3-1-1袋を袋にいれたまま検査
- 鞆にラップトップコンピューターを入れたまま検査
- 軽装上着着用のまま検査
- ベルト着用で検査

しかし、このプログラム参加者であっても、渡航者は常に無作為の予測不能な審査の対象になります。詳細についてはこちらまでwww.tsa.gov.